

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

(網掛) 重点施策

3-(1) 親の学びの機会の充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 母親学級・両親学級 (1-(1)-15の再掲)	拡充	-	-	-	-	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、妊娠中の不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクール、プレ・パパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール(6コース開催) 延実施回数 12回 延参加人数 186人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 6回 参加人数 235人(夫(再掲) 116人)	-	-	A	教室の内容については参加者からは好評であるが、当事業の参加者は、地域の医療機関等で実施される母親学級等に参加し、既に必要な知識を得ている者が大半である事実も確認されている。出産・育児に対する知識が乏しく、本当に受講してもらいたい対象への関わりが十分にできていない現状も考慮して、マタニティスクールについては19年度をもって終了とし、支援が必要な人には個別的な対応をとることとする。またプレ・パパママスクールについては、地域の医療機関等同様の事業を実施している機関と連携を図り、総合保健センターで行う役割を再考し、今後の教室の内容について検討していく。	-	総合保健センター
2 育児関連講座 (2-(2)-24の再掲)	継続	-	-	-	-	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 16講座 72回 参加者延べ1,254人	-	-	A (B A)	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	-	中央公民館
3 家庭教育講座 (2-(3)-5の再掲)	拡充	-	-	-	-	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 127回 参加者延べ2,908人	-	-	A	家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	-	中央公民館

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 「つどいの広場」	新規	2,851	2,820	1,641	1,314	既に実施している川越福祉センターを午後も実施し、11月からは新たに児童館(こどもの城)で事業を開始した。 【6箇所】	2,752	1,625	A (B A)	法人2箇所が支援センターから移行・高階市民センター内の高階児童館に新設 【10箇所】	2,239	保育課
2 家庭教育学級 (2-(3)-4の再掲)	継続	-	-	-	-	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 54校PTA	-	-	A	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 54校PTA	-	生涯学習課
3 イベント等への参加促進	新規	0	0	0	0	各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。	0	0	A	各課イベント等の際の託児についての配慮を文書で通知する。	0	全庁的に対応

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

4-(1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 育児休業取得等の推進・啓発	拡充	0	0	0	0	各種講座での啓発リーフレットの配布に加え、中小企業退職金共済掛金補助申請をした事業所に資料を配布した。	0	0	A	講座受講者及び補助金等申請事業所に啓発資料を配布する。	0	商工振興課
2 ハローワーク求人情報の提供	継続	0	0	0	0	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越及び市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供した。	0	0	A	本庁、出張所、南連絡所、女性会館、サンライフ川越及び市ホームページにおいて、ハローワーク川越求人情報を毎週更新し提供する。	0	商工振興課
3 求職相談	継続	1,063	928	2,072	2,049	高齢者職業相談室が平成18年度で終了したため、それに変わるものとして、主に団塊世代を対象としたキャリアカウンセリング、ライフプランセミナーを開催した。 団塊世代第2ステージ相談会 8月から開始 16回開催 相談19件 ライフプランセミナー 1回開催 参加者5名	852	385	A (E A)	主に団塊世代を対象とした再就職、ボランティア、NPO活動、起業等についての相談会、ライフプランセミナーを開催予定。 団塊世代第2ステージ相談会 月2回 ライフプランセミナー 年2回	612	商工振興課
4 資格・技能情報の収集と提供	継続	138	112	408	292	主に勤労者を対象にパソコン基礎講座、宅建基礎講座を開催した。 パソコン基礎講座 2日間開催 参加者延べ59名 宅建基礎講座 4日間開催 参加者延べ105名 彩の国仕事発見システムによる求人情報を提供した。	432	257	A	技術取得のための講座を6回程度開催予定。 彩の国仕事発見システムによる求人情報提供を引き続き実施。	426	商工振興課
5 国・県の機関との連携	継続	695	276	581	519	ハローワーク川越等と連携して若年者を対象とした若者就職面接会を2回開催した。 第1回 参加事業所48社 参加者144名 第2回 参加事業所19社 参加者56名 県西部産業労働センター、ヤングキャリアセンター等と連携して労働法、キャリアアップ等に関する講座を開催した。 労働法サマーセミナー他 延べ参加者292名	690	549	A	若者就職面接会を2回、労働法サマーセミナー、労働学院、労働安全衛生セミナー等をそれぞれ開催予定。	685	商工振興課
6 労働基本調査	継続	0	0	0	0	平成16年度に実施。次回は20年度予定。	0	0	D	労働基本調査を実施予定。	2,000	商工振興課
7 労働相談	継続	120	120	120	120	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施した。 12回開催 相談9件	120	120	A	勤労者、事業主双方を対象に社会保険労務士等による労働相談を実施する。 12回開催予定。	120	商工振興課

8	一般事業主との連絡協議会	新規	0	0	0	0	市内の事業所に呼びかけ、「仕事と家庭の両立推進セミナー」及び「ワークライフバランスに関する講演会」を行った。 2回開催 延べ参加者数77名(女性19名)	0	0	A (C A)	ワークライフバランス等への理解を深めるため、セミナー、講演会等を開催し、仕事と生活の調和を可能とする就労環境づくりを促進する。	10	子育て支援課
9	女性の就労支援事業	継続	885	885	1,148	1,148	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施した。 ・宅建基礎講座 25回 延べ636人 ・社会保険労務教室 15回 延べ386人 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 延べ244人 ・簿記3級講座 20回 延べ572人 ・カラーコーディネーター3級講座 9回 延べ275人 ・女性の再就職のためのパソコン講座 12回 延べ201人	1,341	1,341	A	女性の就労支援や資格取得を目的とした講座を実施する。 ・医療事務講座 20回 ・宅建基礎講座 20回 ・簿記3級講座 20回 ・福祉住環境コーディネーター3級講座 8回 ・ファイナンシャルプランナー3級講座 8回 ・Re・Beワークセミナー 2回 ・カラーコーディネーター3級講座 8回 ・女性の再就職のためのパソコン講座9回	1,367	女性会館

4 - (2) 仕事と子育ての両立の推進 (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算見込額				予算額	所管課		
1 ファミリーサポートセンター事業 (5 - (1) - 8に掲載)	拡充	-	-	-	-	依頼会員 821人 提供会員 303人 依頼提供会員 32人 活動件数 4,503人	-	-	B (A B)	依頼会員 850人 提供会員 320人 依頼提供会員 35人 活動件数 5,000人 課題:取扱窓口が1箇所しかないので地域のために増設する。	-	保育課		
2 学童保育事業 (5 - (1) - 1の掲載)	拡充	-	-	-	-	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,907人】	-	-	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。 【2,082人】	-	教育財務課		
3 病後児保育事業(施設型) (5 - (1) - 2に掲載)	新規	-	-	-	-	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	-	-	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体と調整を図る。 【1箇所・10人】	-	保育課		
4 一時保育事業 (5 - (1) - 3に掲載)	拡充	-	-	-	-	公立保育所5園、法人保育所6園で実施。 【11箇所・110人】(特定保育と一体化)	-	-	B (A B)	法人立保育所に対し、平成21年度の新規事業実施について打診。 【24箇所・120人】(特定保育と一体化)	-	保育課		
5 特定保育事業 (5 - (1) - 4に掲載)	新規	-	-	-	-	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として、特定保育事業に相当する事業を実施。 【11箇所・110人】(一時保育と一体化)	-	-	B (A B)	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するかを検討。 【24箇所・120人】(一時保育と一体化)	-	保育課		
6 「つどいの広場」 (3 - (2) - 1に掲載)	新規	-	-	-	-	既の実施している川越福祉センターを午後も実施し、11月からは新たに児童館(こどもの城)で事業を開始した。 【6箇所】	-	-	A (B A)	法人2箇所が支援センターから移行 高階市民センター内の高階児童館に新設 【10箇所】	-	保育課		

7	法人立保育所への支援 (5 - (2) - 7に掲載)	拡充	-	-	-	-	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成	-	-	A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成	-	保育課
8	家庭保育室委託事業 (5 - (2) - 8に掲載)	拡充	-	-	-	-	保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成19年度入所児童数(延べ) 2,666名 (市外委託分含む) 平成19年度入所率 74%	-	-	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にある等から入室率が7割程度となっている。家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	-	保育課
9	認可外保育施設への助成制度 (5 - (2) - 9に掲載)	拡充	-	-	-	-	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行う。	-	-	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	-	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援 (5 - (2) - 10に掲載)	拡充	-	-	-	-	事案なし	-	-	D	認可外の保育施設が認可化を行うために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合に、国の補助に併せて市からも補助を行う。	-	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業 (5 - (2) - 11に掲載)	拡充	-	-	-	-	(人数割) 1歳未満児 480,000 × 1 = 480,000 1～2歳児 300,000 × 45 = 13,500,000 3歳以上 170,000 × 350 = 59,500,000 長期休業加算 28園 × 300,000 = 8,400,000 施設経費補助 29園 × 400,000 = 11,600,000	-	-	A	(人数割) 1～2歳児 300,000 × 56 = 16,800,000 3歳以上 170,000 × 340 = 57,800,000 長期休業加算 30園 × 300,000 = 9,000,000 施設経費補助 30園 × 400,000 = 12,000,000	-	保育課

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

(網掛) 重点施策

5 - (1) 地域における子育て支援サービスの充実

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 学童保育事業	拡充	367,949	354,609	385,871	382,403	保護者の就労等により放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育した。 【1,907人】	457,372	441,009	A	保護者の就労等により放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内33学童保育室で保育する。 【2,082人】	439,558	教育財務課
2 病後児保育事業(施設型)	新規	0	0	0	0	開設に向けて、調査研究を行った。 【0箇所・0人】	0	0	C	平成20年度の開設に向けて、関係団体と調整を図る。 【1箇所・10人】	8,480	保育課
3 一時保育事業	拡充	-	-	-	-	公立保育所園5園、法人立保育所6園で実施 【11箇所・110人】(特定保育と一体化)	-	-	B (A B)	法人立保育所に対し、平成21年度の新規事業実施について打診。 【24箇所・120人】(特定保育と一体化)	-	保育課
4 特定保育事業	新規	-	-	-	-	一時的保育事業の「非定型型保育サービス事業」として特定保育事業に相当する事業を実施。 【11箇所・110人】(一時保育と一体化)	-	-	B (A B)	通常保育事業と一時的保育事業と特定保育事業をどのように区分し、実施するかを検討。 【24箇所・120人】(一時保育と一体化)	-	保育課
5 地域子育て支援センター事業	拡充	-	-	-	-	支援センター 6箇所(公立1、法人5)で実施 電話相談及び育児相談 子育て講座の開催 サークル支援 【6箇所】	-	-	A (B A)	支援センター 3箇所(公立1、法人2)で実施・法人2箇所がつどいの広場へ移行し、1箇所が廃止 電話相談及び育児相談 子育て講座の開催 サークル支援 【5箇所】	-	保育課
6 保育所による地域子育て支援事業	拡充	-	-	-	-	地域の親子に園行事への参加の呼びかけ 園庭開放 サークル支援 【33箇所】	-	-	A (B A)	地域の親子に園行事への参加の呼びかけ 園庭開放 サークル支援 【34箇所】	-	保育課
7 「つどいの広場」 (3-(2)-1の再掲)	新規	-	-	-	-	既に実施している川越福祉センターを午後も実施し、11月からは新たに児童館(こどもの城)で事業を開始した。 【6箇所】	-	-	A (B A)	法人2箇所が支援センターから移行 高階市民センター内の高階児童館に新設 【10箇所】	-	保育課
8 ファミリーサポートセンター事業	拡充	15,285	11,827	15,953	11,411	依頼会員 821人 提供会員 303人 依頼提供会員 32人 活動件数 4,503人	12,678	10,870	B (A B)	依頼会員 850人 提供会員 320人 依頼提供会員 35人 活動件数 5,000人 課題:取扱窓口が1箇所しかないので地域のために増設を検討する。	12,370	保育課

9	家庭児童相談	拡充	5,081	4,971	5,051	4,938	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 2668件	4,952	4,872	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係など、関係機関と連携を図りながら相談に応じる。	4,963	子育て支援課
10	女性のための相談事業	継続	6,950	6,950	6,908	6,907	就業相談員兼母子自立支援プログラム策定員をあらたに配置し、母子自立支援員とともに相談体制を強化し、様々な相談に応じた。 母子家庭相談件数 5542件	8,550	7,870	A	母子家庭の自立を支援するため、日常生活上の悩みや経済上の問題、就労等について相談に応じる。	8,105	子育て支援課
			1,453	1,378	1,360	1,278	ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントなど、女性が抱える様々な相談に応じた。 50回 180人	1,250	1,165	A	ドメスティック・バイオレンスやセクシャル・ハラスメントなど、女性が抱える様々な相談に応じる。 50回 250枠	1,253	男女共同参画課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

5 - (2) 保育サービスの充実

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 通常保育事業	拡充	-	-	-	-	公立保育所20園、定員数1,730人 延べ入所児童数:20812人 法人立保育所:13園、定員数865人 延べ入所児童数:11211人 【2,595人】 参考:管外委託延べ入所児童数1,062人	-	-	B (A B)	認可保育所の定員数の増加に努める。 【3,098人】	-	保育課
2 延長保育事業	拡充	-	-	-	-	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、13園中12園で実施 実施園については所要額を助成 【32箇所・896人】	-	-	A	平成17年7月から公立保育所の全てで1時間(高階保育園は2時間)の延長保育を実施 民間保育所では、13園で実施 実施園については所要額を助成予定 【33箇所・1,090人】	-	保育課
3 統合保育事業	拡充	-	-	-	-	保育所において障害児等の保育を実施 平成19年4月時:77人	-	-	A	保育所において障害児保育を実施 平成20年4月時:75人	-	保育課
4 土曜保育事業	新規	-	-	-	-	平成17年7月から名細第二保育園において午後6時30分までの保育を試行事業として実施。試行事業の内容等を検討	-	-	A (C A)	試行事業の検討結果を踏まえ、平成20年4月より中央・脇田新町・高階第二保育園で実施。公立4園で実施 今後も実態を踏まえ、拡大に努める。	-	保育課
5 産休明け保育事業	新規	0	0	0	0	産休明け保育の実施について検討	-	-	D (B D)	産休明け保育の実施について検討	-	保育課
6 公立保育所の運営方法の検討	新規	0	0	0	0	他市事例等の情報収集に努めた。	0	0	C	調査研究	-	保育課

7	法人立保育所への支援	拡充	-	-	-	-	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成	-	-	A	民間保育所の運営の充実と進行を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成	-	保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	170,782	141,772	149,025	138,304	保育料軽減費の一部改正を実施した。 平成19年度入所児童数(延べ) 2,666名 (市外委託分含む) 平成19年度入所率 74%	146,018	138,100	B	家庭保育室に入室している児童の保護者の保育料負担額が認可保育園に比べて高い傾向にある等から入室率が7割程度となっている。家庭保育室の運営の安定化及び保護者の保育料負担額の公平性から保育料軽減費の見直しを図る必要がある。	166,096	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	0	0	0	0	家庭保育室以外の認可外保育施設への助成制度について調査・研究を行う。	0	0	B	県及び他市の動向を踏まえ、検討する。	0	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	拡充	-	-	-	-	事案なし	-	-	D	認可外の保育施設が認可化を行うために施設整備を行う場合、国が規定する施設整備補助事業に該当する場合に、国の補助に併せて市からも補助を行う。	-	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	拡充	75,190	84,120	80,000	87,380	(人数割) 1歳未満児 480,000 × 1 = 480,000 1～2歳児 300,000 × 45 = 13,500,000 3歳以上 170,000 × 350 = 59,500,000 長期休業加算 28園 × 300,000 = 8,400,000 施設経費補助 29園 × 400,000 = 11,600,000	93,730	93,480	A	(人数割) 1～2歳児 300,000 × 56 = 16,800,000 3歳以上 170,000 × 340 = 57,800,000 長期休業加算 30園 × 300,000 = 9,000,000 施設経費補助 30園 × 400,000 = 12,000,000	95,600	保育課
12	保育士研修	継続	1,500	1,450	1,490	1,430	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 ・乳幼児保育研修 18回 参加者 156人 ・障害児保育研修 29回 参加者 675人 ・こどもの病気予防救急法の研修 38回 参加者 415人 ・食育に関する研修 27回 参加者 266人 ・心とからだの発達に関する研修 101回 参加者 2,902人 ・各年齢別研究会での学習会 19回 参加者 380人	1,400	2,041	A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 ・乳幼児保育研修 20回 参加者 160人 ・障害児保育研修 30回 参加者 600人 ・こどもの病気予防救急法の研修 40回 参加者 500人 ・食育に関する研修 30回 参加者 250人 ・心とからだの発達に関する研修 100回 参加者 3,000人 ・各年齢別研究会での学習会 25回 参加者 500人	2,000	保育課
13	保育サービス評価の仕組の導入検討	新規	-	-	620	459	川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業・・・(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金・・・(1園実施)未実施	620	447	B	川越市立保育園福祉サービス第三者評価事業・・・(1園実施) 民間保育園福祉サービス第三者評価事業補助金・・・課題は、民間保育園が事業への協力が必要である。	620	保育課 (公立500) (法人120)
14	認証保育所制度の検討	新規	0	0	0	0	引き続き先進的な取り組みについて調査・研究を行うとともに市内の認可外保育施設の状況分析を行った。	0	0	B	国の認定子ども園制度が創設されたので、認証保育所制度との整合性について検討する。	0	保育課

5 - (3) 子どもの健全育成の取組

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 子どもに関する条例	新規	0	0	0	0	他の自治体の子ども条例の研究	0	0	C	他の自治体の子ども条例を研究するとともに、関係課との協議について検討する。	0	教育指導課 人権推進課 青少年課 子育て支援課
2 人権保育	拡充	0	0	0	0	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進した。	0	0	A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに保育所の人権保育を推進する。	0	保育課
3 児童手当	継続	1,400,000	1,398,600	1,901,138	1,848,025	家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童を養育している者に手当を支給した。また、法改正により平成19年4月から3歳未満の児童に係る手当額が、第1子、第2子について月額5,000円から10,000円に増額した。	2,270,000	2,254,940	A	家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童を養育している者に手当を支給する。	2,270,000	子育て支援課
4 就園奨励費	継続	337,607	336,297	345,261	345,230	新条件の対象が拡大され保護者への補助が拡大した。支給合計6053名(うち新条件該当1363名)	367,423	366,889	A	国基準に従って保護者の経済的負担をさらに軽減するよう努める	391,605	教育財務課
5 スポーツ少年団 (2-(3)-7の再掲)	継続	-	-	-	-	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計3,777名	-	-	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	-	市民スポーツ課
6 学校体育施設開放事業 (2-(3)-8の再掲)	継続	-	-	-	-	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数448,694名。霞ヶ関北小プール開放参加人数3,669名。学校プール開放参加人数71名。	-	-	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	-	市民スポーツ課
7 地域組織活動への研修	拡充	0	0	0	0	保健推進員に対し、会議・研修会の場で母子保健に関する研修を実施した。また他の団体からの依頼により、母子保健に関する情報提供・研修を実施した。	0	0	B (A B)	今後も継続して地域の他の団体からの要望により、情報提供・研修を実施していく。また保健推進員の妊婦訪問に関しては、平成19年度をもって終了となったが、保健推進員の母子に関する活動方法を検討しながら、研修を継続していく。	0	総合保健センター
8 児童館	拡充	0	0	0	0	高階公共施設に設置する児童・青少年施設の運営について、関係課と検討を行なった。	3300	3,201	A	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設としての児童館機能の導入について検討していく。	0	青少年課

9	児童遊園	継続	17,792	17,383	14,513	13,890	市内179箇所の児童遊園について、点検及び地元自治会からの要望等により、工事、修繕等の整備を実施した。 ・工事 1箇所 ・廃止 4箇所 ・修繕等 延べ 59箇所	13,723	13,358	A	地域の状況を鑑み、児童遊園を配置していくとともに、遊具等の施設について安全に利用できるように整備に努めていく。	14,985	青少年課
10	児童館機能の整備	継続	18,346	18,229	18,984	18,941	開館日数 309日 利用者数 52,234人(個人任意40,326人、 集団指導11,908人) 集団指導内訳 ・乳幼児/保護者 みんなであそぼう1・2・3 実施回数 69回 参加人数 6,181人 他9事業 実施回数91回 参加人数 4,636人 ・学 童 つくってあそんで 実施回数 12回、参加人数61人 他 5事業、実施回数 72回 参加人数 725人 ・児童(17歳まで) おもちゃの病院 実施回数 12回、参加人数100人 他 2事業、実施回数 2回 参加人数 205人 合 計 19事業 実施回数 258回 参加人数 11,908人	18,499	18,388	A	継続して事業を進める	18,620	青少年課 (東口児童館)
			57,370	55,168	56,138	54,345	児童センターこどもの城開館日数302日 利用者数 52,331人(児童館 47,044人・プラ ネタリウム 5,223人・天体観測 64人) 実施事業等の内訳 ・乳幼児親子活動 116回 7,849人 ・学童自由参加活動 135回 2,313人 ・学童登録参加活動 13回 307人 ・学童クラブ活動 59回 742人 ・体力増進指導活動 407回 7,476人 ・プラネタリウム 春夏秋冬ほか 5,223人 ・天体観測 月・星・星雲・星団 64人	54,524	53,161	A	継続して事業を進める	54,214	青少年課 (児童センター)
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	5月にオープンした高階児童館の運営について、社会環境や利用者の動向を見ながら充実を図る。 8事業実施予定	18,821
11	青少年市民会議	継続	4,500	4,500	4,500	4,416	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施した。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 5地区 5事業 ・青年海外協力隊激励 1名 ・健全育成市民大会 465名参加	4,050	3,988	A	青少年の健全育成運動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係団体と協働で各種事業を実施する。 ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 4地区 ・青年海外協力隊激励 4名 ・健全育成市民大会 600名参加	3,740	青少年課
12	青少年団体	継続	571	564	461	453	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載をした。また、補助金を交付し、活動の充実を図った。 ・川越市青少年団体連絡協議会加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	453	453	A	青少年団体主催行事について、広報川越に掲載する。また、補助金を交付し、活動の充実を図る。 ・川越市青少年団体連絡協議会加盟4団体 ・川越市青少年相談員協議会	453	青少年課
13	「子ども110番の家」	継続	600	500	600	600	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付した。 ・青少年を育てる地区会議 12地区	3,000	3,000	A	「青少年を育てる市民会議」を通じて、子ども110番プレート作成等に補助金を交付する。	3,000	青少年課

14	青少年の体験活動事業	継続	3,800	3,800	3,600	3,600	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施した。 ・市内中学生44名	3,700	3,700	A	「青少年を育てる市民会議」に委託し、友好都市北海道中札内村を中心に、市内中学生を対象にした「少年の翼」事業を実施する。	3,700	青少年課
15	非行防止活動	継続	9,799	9,589	9,133	8,513	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を674回実施した。50件の少年相談にも応じ、青少年の非行を未然に防ぐ活動を実施した。	10,075	8,965	A	少年指導センターにおいて、少年補導員を中心とした街頭補導活動を積極的に行う。青少年の相談にも従事し、青少年の非行を未然に防ぐ活動を実施する。	9,198	青少年課
16	不登校児童生徒支援スタッフ事業	継続	9015	8,984	9,916	9,810	終了 (平成19年度から川越市さわやか相談員が全中学校に配置されたため)	-	-	E	終了 (平成19年度から川越市さわやか相談員が全中学校に配置されたため)	-	教育研究所
17	適応指導教室	継続	40	40	40	40	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生13人	30	30	A	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生3人	25	教育研究所
18	地域子どもサポート推進事業	拡充	1,933	1,611	2,170	1,932	市内14地区の地域子どもサポート委員会と委託契約を結び、地域の特色を生かした取り組みを進めることができた。大きな地区事業(イベント)だけでなく、学校支援事業も少しずつ始めることができた。全地区で事業を行うことができたことが一番の成果である。学校支援事業については、各団体との連絡調整をうまくとりながら、協働して進めていくことが必要である。そのためにコーディネーターを学校ごとに設置していく必要がある。	3,068	2,832	A	地区の特色を生かし、継続可能な事業を展開していく。学校支援事業に力を入れ、学校応援団や学校支援地域本部の役割をサポート委員会が果せるようにしていく。豊かな体験をさせることを目的とした地区事業は引き続き、行っていく。多くのボランティアがサポート事業に関われるよう、広報啓発活動も行っていく。	2,975	生涯学習課
19	ブックスタート事業	継続	5,234	4,732	4,706	4,606	4ヶ月健診会場等で親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。48回実施し、2625組が参加した。	4,684	4,610	A	4ヶ月健診会場等で親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡す。	4,742	中央図書館
20	いないいないばあのおはなし会	継続	0	0	0	0	0歳から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。3館合わせて、48回実施し、1057組が参加した。	0	0	A	0歳から1歳児の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行います。	0	中央図書館
21	民生委員・児童委員研修会	継続	100	59	100	50	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修(総改選によるもの) ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。 参考 相談支援件数 2,748件	170	119	A (B A)	民生委員・児童委員研修 ・初任者研修 ・中堅者研修 ・主任児童委員研修 民生委員・児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努める。	120	生活福祉課
22	スチューデントサポーター派遣事業	継続	450	650	540	518	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援した。 ・参加学生15名 ・活動回数 延べ161回	540	322	A	学生ボランティアが、家庭訪問等を通して、不登校児童生徒を支援する。 ・15名で対応予定	480	教育研究所

5 - (4) 体験活動・交流の促進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 川越PTA連合会活動	継続	90	82	90	90	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施した。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・学年学級委員会・成人教育委員会(家庭教育学級運営講座)	90	90	A	市内小中学校PTAの常置委員会の研修を深め、PTA活動の充実、推進を図るためPTA運営講座を実施する。 総務財政委員会・広報委員会・環境保健委員会・学年学級委員会・成人教育委員会(家庭教育学級運営講座)	90	生涯学習課
2 子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	新規	-	-	-	-	未実施	-	-	D (B D)	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	-	総合保健センター
3 川越市子ども会育成者団体連絡協議会活動	継続	1,045	1,040	1,015	1,017	補助金の交付により広報誌の発行などの子ども会活性化に寄与した。	1,015	1,011	A	保険業法改正に伴い、市子連共助会は廃止となり、安全会への補助金は今年度から休止となった。	370	生涯学習課
4 地域人材活用事業	継続	1,344	1,239	1,344	1,350	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにした。 (3000円×56校×4人×2回)	1,344	1,335	A	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開されるようにする。 (3000円×56校×4人×2回)	1,344	学校管理課
5 中学生社会体験事業 (2-(1)-2の再掲)	継続	-	-	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,811人 ・協力事業所 749社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2992名(予定)	-	教育指導課
6 生きがい活動支援通所事業	継続	8,098	8,041	8,019	8,019	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を行った。利用者は小学生との交流を喜び、小学生も歌・昔遊び・戦争等体験談に興味を示し、楽しんだ。	8,288	8,288	A	引き続き、利用者に小学生との交流を楽しんでもらうとともに、高齢者と触れ合う機会が少なくなっている子どもたちに交流の場を提供していく。	8,103	高齢者いきがい課
7 体験学習(小学生対象)	継続	2,422	1,811	2,316	1,157	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施した。 16講座 71回 参加者延べ3,840人	1,460	1,025	A	子どもの自然体験や社会体験活動の振興を促す事業を実施する。	1,077	中央公民館
8 土曜体験教室 (2-(2)-14の再掲)	継続	-	-	-	-	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供した。 21回 延べ1,323人	-	-	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな体験の場を提供する。	-	博物館
9 子ども博物館教室 (2-(2)-15の再掲)	継続	-	-	-	-	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、近な川越の歴史でや文化財への理解や関心を深めた。 3回 延べ89人	-	-	A	子どもたちに博物館に親しんでもらうとともに、近な川越の歴史でや文化財への理解や関心を深める。	-	博物館

10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	-	-	-	-	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供した。 3回 延べ155人	-	-	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り、学校教育と連動した学習や体験の場を提供する。	-	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	-	-	-	-	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供した。 2回 延べ279人	-	-	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむ機会を提供する。	-	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	3,500	2,990	3,500	2,890	市内中学校生徒を海外姉妹都市オッフェンバッハ市へ派遣した。	3,301	2,851	A	市内中学校生徒を海外姉妹都市セーレム市とオータン市へ派遣する。	4,257	国際交流課

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算見込額				予算額	所管課		
1 つどいの広場 (3-(2)-1の再掲)	新規	-	-	-	-	既に実施している川越福祉センターを午後も実施し、11月からは新たに児童館(こどもの城)で事業を開始した。 【6箇所】	-	-	A (B A)	法人2箇所が支援センターから移行 高階市民センター内の高階児童館に新設 【10箇所】	-	保育課		
2 地域子育て支援センター事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	-	-	-	-	支援センター 6箇所(公立1、法人5)で実施 電話相談及び育児相談 子育て講座の開催 サークル支援 【6箇所】	-	-	A (B A)	支援センター 3箇所(公立1、法人2)で実施 法人2箇所がつどいの広場へ移行し、1箇所が廃止 電話相談及び育児相談 子育て講座の開催 サークル支援 【5箇所】	-	保育課		
3 保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充	-	-	-	-	地域の親子に園行事への参加の呼びかけ 園庭開放 サークル支援 【33箇所】	-	-	A (B A)	地域の親子に園行事への参加の呼びかけ 園庭開放 サークル支援 【34箇所】	-	保育課		
4 子育てサークルへの出前講座	拡充	-	-	-	-	子育て講座 (公民館と共催)5回コース 7回 (公民館主催講座) 8回 サークル支援 76回 その他の支援、研修、講習会等 18回 保育ボランティアの育成支援	-	-	A	子育て講座 6回(予定) サークル支援 70回(予定) その他の支援(研修、講習会等)未定	-	保育課		
		-	-	-	-	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 32回 参加延人数 1,078人	50	50	A	今後も継続して実施。依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	63	総合保健センター		

5	子育てサークルへの施設提供	新規	0	0	0	0	子育てサークルへの活動の場の提供を行った。	0	0	A	子育てサークルへの活動の場の提供を行う。	0	中央公民館
6	子育てサロン事業	拡充	1,607	1,607	2,041	2,041	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催した。 19講座 273回 参加者延べ11,357人	2,254	2,210	A	公民館を会場に子育ての悩みや情報を分かち合うサロンを開催する。	2,268	中央公民館
7	子育てサポーター養成講座	継続	175	175	132	132	子育てを支援する地域のサポーターを養成した。 1講座 6回 参加者延べ101人	88	88	A (B A)	子育てを支援する地域のサポーターを養成する。	40	中央公民館
8	子育てネットワーク事業	新規	0	0	0	0	既存の「要保護児童対策地域協議会」の実務者会議を「子育てネットワーク」として位置づけ、子育て支援に関して連携を図ることとした。	0	0	B (D B)	NPO法人や保護者らに参加者を拡大し、連携強化を図る。	0	子育て支援課

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

5 - (6) 子育て情報提供の充実

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 育児情報発信活動	拡充	42	53	45	61	子育てに関する情報誌等に、母子保健に関する情報提供を行った。	0	0	A	今後も引き続き、情報提供を行っていく。	0	総合保健センター
		-	-	-	-	子育て情報紙「子育てわくわく」、子育てリーフレット、各支援室の利用のしおり案内「お気軽にお越し下さい」作成・配布 子育て講座資料(絵本、食事、遊び、ミニ冊子等)を配布 川越子育て情報誌「子育てわくわく」を2,000部作成	500	400	A (B A)	子育て情報紙「子育てわくわく」、子育てリーフレット、各支援室の利用のしおり案内「お気軽にお越し下さい」作成・配布 子育て講座資料(絵本、食事、遊び、ミニ冊子等)を配布 川越子育て情報誌「子育てわくわく」を2,000部増刷	300	保育課
2 育児サークル支援	拡充	-	-	-	-	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座・出前健康相談を実施。 ・出前講座 実施回数 32回 参加延人数 1,078人 ・出前健康相談 開催延回数 6回 参加者 159組	50	50	A	今後も継続して実施。依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	63	総合保健センター
		-	-	-	-	サークル支援 内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等	-	-	A	サークル支援 内容 手遊び、ふれあい遊び、わらべうた、集団遊び、ペープサート、人形劇、パネルシアター、制作、エプロンシアター、大型絵本等 絵本の貸し出し、教材の貸し出し等広げる。また、手づくりおもちゃを紹介し伝える。	-	保育課